

# 令和4年度 事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における一般財団法人西南一粒の麦基金（以下「当財団」という。）の事業活動について、次のとおり報告いたします。

## 1. 事業活動概要

7年目となった本年度は、いまだ新型コロナウイルスの感染拡大懸念が残り、西南学院百年館における無料英語教室の開催を中止し、Zoom を利用したオンラインによる開催を継続しました。

里親家庭で暮らす子ども達応援においては、里親会による新年会が市中の店舗にて開催となったこともあり、昨年度と同様、各家庭へ握りたての寿司を届けることとしました。

28回目となるホークスカップ中学生軟式野球大会は例年通りに開催され、昨年度同様の支援を行いました。

昨年、一昨年と中止となった日本・イスラエル・パレスチナ学生会議が、3年ぶりに開催となり、さらに福岡での開催となり、これまでの支援に加え、福岡滞在中に使用する施設の確保、地域交流や平和学習の活動に関する手配、懇親会等の手配等の支援も行いました。

賛助会員の拡充に関し、西南学院同窓会による賛助の呼びかけに、当財団を加えていただき、30名を超える方からの賛助をいただきました。また賛助いただいた一部の方が当財団の賛助会員に入会いただくことができました。

財団の運営を効率的に行い、事務局の負担軽減を図るため、電子印鑑決裁システム「シャチハタクラウド」を導入しました。

これらの活動を行うため、理事会を5回、評議員会を1回開催するとともに、アフターコロナにおける、当財団としての活動をどのように進めていくかについて理事会において意見交換、方向付けを行いました。

## 2. 事業活動の実績

### (1) 育成活動事業

#### ①無料英語教室「西南一粒の麦 English Academy」の開催と運営

今年度も昨年度と同様、オンラインでの開催を継続しました。講師も昨年度と同じ方に依頼し、またキャンパスサポート西南の運営への尽力もあり、スムーズで充実したクラス運営ができました。

年度の終わり頃の時期には、コロナ禍も落ち着きが見えてきたことから、次

年度には従来の教室に集まっての開催方法へ戻ることができる状況が見込まれたことから、開催会場、講師、運営についての検討も始めました。

また、2年間のオンラインによる開催の経験から、このやり方は様々な事情により教室へ来ることができない子ども達への方法として活用できるのではないかと考え、例えば、病気療養等のため医療施設に入院している子ども達に対して、この方法で英語を学ぶ楽しさを伝えることができるのではないかと検討を始めました。

## ②里親家庭、ファミリーホームで暮らす子ども達の応援活動

今年度は、里親会の新年会が1月に開催されましたが、その会場となったのが市中の店舗であったため、これまでのような寿司振る舞いができず、昨年度と同じく、子ども達が楽しみにしている職人が握った寿司を各家庭に届け、各家庭で楽しんでいただくこととしました。

12月25日(日)に、11家庭、子ども34人、里親23人に、握り寿司、軍艦巻き合わせて870貫を手分けして届けました。大変喜んでいただき、多くのお礼の手紙もいただきました。また、後日、楽しそうに寿司を食べている様子の写真もいただきました。

この取り組みは、当財団が西南学院高校同窓会を母体とし、その卒業生が持つ技能を活用した特徴ある取り組みであり、また、子ども達に日頃触れることの少ない体験の場を提供できる有意義な活動であり、今後も西南学院高校同窓会、福岡市里親会と連携し継続していきます。

## (2) 育成支援事業

### ホークスカップ中学生軟式野球大会への支援

今年度は、69の福岡市内の中学校ならびにクラブチームの参加により「第28回ホークスカップ中学生軟式野球大会」が開催され、3月26日(日)に福岡PayPayドームで準決勝、決勝、閉会式が行われました。

当財団としては、昨年度同様、主催者である「NPO法人ホークスジュニアアカデミー」及び大会運営を担当するボランティア団体「銀風会」に対し、支援金を贈呈し、開会式及び閉会式に江副理事長が来賓として出席しました。

## (3) 社会貢献事業

### 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の支援

今年度、3年ぶりに合同学生会議が開催されることとなり、また福岡での開催となりました。6月に学生会議より連絡を受け、財団内に受け入れのための

プロジェクトを設置し対応しました。また、西南学院においても広報・校友課を窓口として、西南学院大学との調整を行っていただきました。

その結果、福岡滞在中の宿泊場所として「西南学院大学合宿研修所」を、討議の場として「西南学院百年館」を、討議結果発表の場として「西南コミュニティセンター」を使わせていただけることとなりました。

8月16日（火）にイスラエル人学生5名、パレスチナ人学生4名、日本人学生12名が来福し、翌17日（水）に西南学院百年館にて開会式を執り行い、25日までの10日間にわたる今年の会議の行事が始まりました。

この合同学生会議では、参加者による討議の他、地域交流や平和学習といったプログラムがあり、その手配や準備を財団で行いました。また、西南学院高校卒業生のご協力により、博多の食とともに懇親の場を設けました。

### 【2022年日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議日程】

\*印について、当財団で調整や手配等の支援を行いました。

月日	日 程	記事
8月16日（火）	会議出席者来福	空港出迎え及び送迎 *
	夕食を共同で作る交流	西新公民館にて *
8月17日（水）	開会式	西南学院百年館にて *
	アイスブレイク	西南学院大学構内散策
8月18日（木）	平和学習	大刀洗平和記念館訪問 *
	地域交流（昼食と体験）	大刀洗町の皆さまと *
8月19日（金）	討議	
8月20日（土）	長崎平和学習・観光	原爆資料館訪問、被爆者講話 *
	野球観戦	福岡 PayPay ドーム *
	懇親会	西新・奈綸の店にて *
8月21日（日）	討議	
8月22日（月）	討議	
	福岡市長表敬訪問	*
	夕食に寿司振る舞い	*
8月23日（火）	福岡観光	九州国立博物館、大宰府、福岡県護国神社、東長寺訪問 *
	夕食懇親会	福新楼にて *
8月24日（水）	討議	
	夕食懇親会	博多華味鳥にて *
8月25日（木）	分科会（発表準備）・発表会	西南コミュニティセンターにて *
	フェアウエルパーティ	酒場のシャトルにて *

月日	日程	記事
8月26日(金)	福岡発、東京へ	

また、平和学習や地域交流、長崎、福岡観光へのスポット参加として、西南学院大学の学生が4名参加し、貴重な体験をすることができました。

会議開催後には、学生会議より会議の開催報告書が送られてきました。今回の会議開催にご尽力いただいたみなさまへこの報告書を配布しました。

今後のこの会議の活動については、未定の部分がありますが、引き続き、当財団として支援をしていきたいと考えています。

#### (4) 当財団の認知度向上のための広報の取り組み

##### ①財団ホームページの更新と内容の充実

- ホームページの更新としては、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画を掲載。新規入会の賛助会員の掲載による更新を行いました。
- 内容の充実については、今年度具体的な取り組みは出来ませんでした。これにつきまして、令和5年度に全体的なリニューアルと行うことといたします。

##### ②報道機関への情報提供

- 報道機関への情報提供（プレスリリース）として、8月に開催された日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議に関して、福岡での開催内容について福岡の報道機関へ、長崎訪問について長崎の報道機関へ情報提供を行いました。また、12月に実施した里親家庭で暮らす子ども達への寿司宅配の情報提供を行いました。
- 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議については、テレビ1社（RKB）、新聞3紙（西日本、読売、長崎）にて取材をしていただきました。

#### (5)活動の継続を支える財政基盤の拡充

##### ①賛助会員入会の促進

今年度も、賛助会員への入会者増に取り組み、令和4年度に新規入会として、個人会員22名82口、団体会員3法人19口の入会があり、令和4年度末時点で、昨年度からの継続会員を含め、個人会員70名221口、団体会員12法人161口、合計382口となりました。

今後も、当財団の活動を継続し、さらに充実させていくにはさらに多くの賛助会員が求められ、西南学院大学同窓会、西南学院中学校同窓会への入会

案内を含め、引き続き、会員を募り安定した財政基盤を作りたいと考えます。

## ②西南学院高校同窓会賛助振込者への入会案内

昨年度、西南学院高校同窓会が同窓会報とともに賛助振込用紙を送られ、その賛助先の一つに当財団を加えていただきました。この賛助振込により、31名の方から当財団に対して130,000円の賛助金を振り込んでいただきました。

これらの方々へ、賛助会員への入会をご案内したところ、13名（14口）の方が賛助会員へ入会いただきました。（13名のうち6名は、平成5年度入会扱い）

## ③寄付の募集

②の賛助振込者のなかで賛助会員への入会をされなかったの方々からの賛助振込金を寄付金として処理し、88,000円の寄付がありました。

## (6)活動の継続を支える人的基盤の整備

### サポーター登録制度の創設

一昨年度、当財団の活動を円滑に運営していくための人的な支援体制を確保し、活動の継続と充実を図ることを目的に、①技能サポーター、②運営サポーターの2種のサポーター登録制度を創設しました。

昨年度の新規登録はなく、現在1名、登録いただいています。

## (7)運営の効率化のためのツール導入

### シャチハタクラウドの導入による議事録への押印

当財団は、理事、監事の全員が非常勤であり、通常はそれぞれ別々の場所にいることから、理事会の議事録をはじめ書類への押印に時間と労力を要していました。

この解消と運営の効率化のため、シャチハタ株式会社が提供している電子印鑑決裁のサービスである「シャチハタクラウド」を導入しました。この導入により、議事録等の書類への押印をパソコン上でできるようになり、事務局の負担軽減、効率化ができました。

### 3. 法人運営

#### (1) 評議員及び役員(令和5年3月31日現在)

評議員	大崎 完治
評議員	柴田 宗樹
評議員	長澤 正信
評議員	岩崎 文正
評議員	蒲原 由和
評議員	穴見 恭二
評議員	平畑 雅博
評議員	田中 慎介
理事長(代表理事)	江副 裕紀
専務理事	吉田 忠司
常務理事	立石 智昭
常務理事	高橋 浩一
理事	乙藤 計造
理事	川崎 俊雄
理事	加賀田 真一郎
理事	永田 修三
理事	津田 敏道
理事	坂東 浩明
監事	張 光陽
監事	織田 洋輔

#### (2) 評議員会の開催

令和4年度定時評議員会(令和4年6月27日)

開催場所 福新楼

決議事項 第1号議案 令和3年度貸借対照表及び活動計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属計算書の承認について

第2号議案 理事及び監事の選任について

報告事項 1 令和3年度事業報告

報告事項 2 令和4年度事業計画及び収支予算

報告事項 3 西南一粒の麦 English Academy の状況

- 報告事項 4 賛助会員の状況  
報告事項 5 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の福岡開催について

### (3)理事会の開催

#### 第32回理事会（令和4年6月2日）

開催場所：あいれふ 研修室B

- 決議事項 第1号議案 令和3年度事業報告（案）について  
第2号議案 令和3年度収支決算（案）について  
第3号議案 理事及び監事候補者（案）について  
第4号議案 令和4年度定時評議員会の招集並びに会議の目的事項（案）について
- 報告事項 1 English Academy の状況  
報告事項 2 賛助会員の状況および年会費入金状況  
報告事項 3 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の福岡開催について  
その他 1 シャチハタクラウドの導入検討について

#### 第33回理事会（令和4年6月27日）

開催場所 福新楼

- 決議事項 第1号議案 理事長選任について  
第2号議案 理事長職務代行順位について  
第3号議案 役職理事の選任について  
第4号議案 シャチハタクラウドの導入について

#### 第34回理事会（令和4年9月26日）

開催場所 奈綸の店

- 報告事項 1 English Academy の状況  
報告事項 2 賛助会員の状況  
報告事項 3 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議の開催  
その他 1 事務局スタッフの担当変更

#### 第35回理事会（令和3年12月5日）

開催場所 ひろ正

- 報告事項 1 English Academy の状況について  
報告事項 2 賛助会員の状況について  
報告事項 3 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議報告書について  
その他 1 今年の里親家庭で暮らす子ども達応援について

第36回理事会（令和5年3月27日）

開催場所 西南学院百年館

決議事項 第1号議案 令和5年度事業計画（案）について

第2号議案 令和5年度予算計画（案）について

第3号議案 税申告に伴う令和4年度仮決算の承認について

報告事項 1 English Academy の状況

報告事項 2 賛助会員の状況

報告事項 3 第28回ホークスカップ中学生軟式野球大会の状況について

その他 1 九州北部税理士会からの助成について

2 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の今年の活動について